

広報ひがしゆり

1991・10

No.439



■主な内容	*
●議会定例会「町政報告」	2
〃「一般質問」	3
〃「可決した主な議案」	4
●独り暮らし老人からのSOSに対応	5
●平成2年度一般会計決算	6・7
●おめでとう100歳	8
●野球場照明施設など完成	8・9
●町のわだい	10・11
●みんなのひろば	12・13
●ねんきん通信ほか	14
●トピックス	15

今年の稲の刈り取り作業は平年より二日ほど早く行われ、東由利農協のライスセンターからは十月一日“新米”が初出荷されました。

稻刈りは、今年は九月二十日から一週間がピークで、特に二十一、二十三日の連休が好天に恵まれ作業が一気に進みました。（写真は九月二十三日津沢にて撮影）

しかし、二十八日早朝、台風十九号が秋田県沖を通過、その影響で町内を暴風が吹き荒れ、ハサガケの稲が倒壊したり、刈り取り直前の稲が倒伏するなどの被害が発生しました。被害規模は、ハサガケの倒壊約百十糾、立ち毛倒伏九十五糾、同実落ち約三百十糾で、被害額は推定で四千三百万円余りとなっています（九月三十日現在・役場産業経済課調・台風被害関係14面に掲載）。

収穫中の稲を“台風”襲う

議会定例会

町議会九月定例会が九月十九日から十月一日まで十三日間の会期で開かれ、阿部町長が町政報告、四氏が一般質問を行つたほか平成三年度一般会計補正予算案など十議案を可決、平成二年度一般会計及び特別会計決算認定案を承認し閉会しました。以下三面にわたり町政報告、一般質問、議案の概要をお知らせします。

町政報告

温泉開発などについて報告

八月二十日就任後初の議会定例会を迎えた阿部町長は、町政報告に先立ち次のように施政方針を述べました。



議会の皆様とは、共に町発展と町民の幸せを希望する町民の代表であるという認識のもとに、お互いの立場を尊重し合いながら十分な対話や討論を重ね、よりよい町づくりをして参りたいと存じます。そのためには、私は対話や討論の場で遠慮しませんし、議会の皆様もどうぞ遠慮なく私を鍛えていただきたいと存じます。



就任後初の町政報告をする阿部町長

山前町長にはたくさんの業績をあげられ、しかも財政基盤の脆弱な町であるため特に健全財政に留意され、多額の基金積み立てをされました。そのご苦労を多としながら、しつかりと引き継いで参ります。

町政はいささかの停滞も許されず、

「行政のプロ」である町職員には能力のすべてを出していただき、「明るく元気の出る町」東由利をつくりあげます。その条件としては▽「働く場・十分所得を得られる場」をどう方向づけ施策ができる場」をどうつくりあげていくか。▽「安心して快適な生活

ができる場」をどうつくっていかせてどう位置づけるか……に尽きます。

基幹産業である農林畜産業は、ご承

知のとおり国内外共に極めて厳しい情勢にあります。経済的に引き合う産業として永続させるために、どうやって農家・農業者に頑張つてもらうかが基

本になりますが、農家・農業者自身の向上心に適切な情報を提供することが

緊要であります。幸い「東由利町農業振興大綱」も出来上がつたことですし、農協を中心とした他の機関とも協力し合ひながらその振興策に取り組みます。また、商工業の振興にもこれまで以上に

力を注ぐ必要があり、できるだけ早い機会に役場に商工振興の担当係を配置し、これに備えて参ります。

道路は、わが町にとつて経済文化の大動脈であるという認識に立ち、近隣の中核都市本荘・横手市はもちろん、大曲・湯沢市、そして秋田空港へも三十分という距離圏をつくりあげるための努力をして参ります。そのためには国道一〇七号の久保・板戸工区をはじめ、岩館バイパス、館合バイパス、黒淵・羽後町間の拡張等の早期実現に全力を尽くします。

このほか、憩いの場として八塩山の一層の整備をはじめ、町内の拠点整備にも取り組んで参ります。

以上施政方針を述べた後、阿部町長への対応策、若者定住対策、あるいは老人世帯や独り暮らし老人対策として構想して参ります。

河川の汚れ防止対策として下水道や集落排水整備は不可欠であり、いち早く計画に着手して参ります。また急速な高齢化の進行で、わが町の高齢者比率は全国平均の二十年先を行つていて現実から、高齢者の在宅福祉対策として過ごせる老後を目標に生きがい対策などに取り組んで参ります。

町づくりは人づくりであります。全国の農山村に共通して人口の減少が続いている、わが町にとつても例外ではありませんが、この歯止め策に英知を結集して取り組んで参りたいと存じます。年々減少傾向にある子供や若者のために、そして町の将来のために意欲ある人材養成が町づくりの基本である……という観点から、教育・研修の場を通じて琢磨しながらの人材育成に努め「光り輝く人材が輩出する町」東由利を目指し所要の取り組みをして参ります。

元企業の従業員対策、Uターン希望者への対応策、若者定住対策、あるいは老人世帯や独り暮らし老人対策として構想して参ります。

◇

◇

以上施政方針を述べた後、阿部町長は六月以降事業の進捗状況のほか「町民が大きな関心を寄せている温泉開発は、九月十四日町温泉開発協議会から早期発掘の答申を受けたところであり、答申を尊重し今後具体的な利用方法も含め検討し、掘削を実現させたい」などと町政報告を行いました。

4 氏が環境整備などを質問

町議会九月定例会の初日に行われた一般質問では、四氏が環境整備など十二項目にわたって阿部町長の考えをただしました。概要は次の通りです。

加藤栄一議員 ①岩館バイパスの早期着工を望む。②農產物流通販売施設を建設する考えはないか。③大台高原を観光開発する考えはないか。



9月19日から13日間の会期で開かれた町議会 9月定例会

道」の改良制度及び整備状況について問う。②老方南側側溝を改良する計画はないか。改良の場合は流雪溝兼用の側溝を望む。③冬期祝沢トンネル内の凍結対策に速やかに対処さ

③緊急に検討していただくよう陳情します。

小松慎一議員 ①魅力ある農業の創造への抱負を問う。②高齢者が安心して暮らせる町づくりを要望する。町長の見解を問う。③下水道整備促進について意見を問う。④下郷分校の環境整備を行い入学者の増員に努められたい。

町 長 ①産業振興はひとつ農業だけではなく総合的に進めていくことが基本です。農業の事業主体である農協との連携を図り、農家の向上心に対する情報提供に努力していきたいと思います。

②全く同感です。今後は「東光苑」による施設福祉をはじめ在宅福祉としてのデイサービスやショートステイ、閑

算編成の動向を見つつ来年度予算を編成することになり、現時点では推計であります。②これまでかなり配慮した支援対策がなされてきていると田山ですが、今一度見直し、ご指摘のリーダー育成、アドバイザーの派遣をも含め来年度予算に積極的に反映させたいと考えています。

三四個所を発注する予定です。②県では緊急性の高い所から順次整備しています。同地区については流雪溝兼用の側溝とするよう陳情していきます。③緊急に検討していただくよう陳情します。

小松 賢議員 ①平成四年度一般会計当初予算のおおよその予測を問う。②地域おこしグループへの支援計画について問う。

には膨大な予算が必要であると共に町民の負担も大きく、それらの克服を含め多面的に検討する必要があると思します。まずは町民の意向調査を行い、役場庁内にプロジェクトチームを編成し検討していく考えです。④今年度はトイレ、理科・家庭科教室の整備などを进行了。来年度は窓のサッシ化校舎外部塗装などをを行うよう県に要望中です。入学者の増員については東中三年生による下郷分校参観交流会、教職員交流会等を開催すると共に、PTAなどを通して理解をいただくために努力します。

どを質問

れたい。

町長 ①「里道」は補助事業で対応できない集落道です。これまで個人による整備は不可能と思われる道路を調査し、整備方針（案）を作成し議会と協議してきたところです。今年度は公益性と緊急性の高い個所を中心に二千五百万円を予算計上しました。すでに三個所の工事を発注しており、今後も三～四個所を発注する予定です。②県では緊急性の高い所から順次整備しています。同地区については流雪溝兼用の側溝とするよう陳情していきます。③緊急に検討していただくよう陳情します。

小松慎一議員 ①魅力ある農業の創造への抱負を問う。②高齢者が安心して暮らせる町づくりを要望する。町長の見解を問う。③下水道整備促進について意見を問う。④下郷分校の環境整備を行い入学者の増員に努められたい。

町長 ①産業振興はひとつ農業だけではなく総合的に進めていくことが基本です。農業の事業主体である農協との連携を図り、農家の向上心に対する情報提供に努力していきたいと思います。②全く同感です。今後は「東光苑」による施設福祉をはじめ在宅福祉としてのデイサービスやショートステイ、関

連施設の整備など、福祉サービス態勢充実のための具体的な計画に取りかかることを編成する計画です。③下水道整備には膨大な予算が必要であると共に町民の負担も大きく、それらの克服を含め多面的に検討する必要があると思います。まずは町民の意向調査を行い、役場庁内にプロジェクトチームを編成し検討していく考えです。④今年度はトイレ、理科・家庭科教室の整備などを実行しました。来年度は窓のサッシ化校舎外部塗装などをを行うよう県に要望中です。入学者の増員については東中三年生による下郷分校参観交流会、教職員交流会等を開催すると共に、PTAなどを通じて理解をいただくために努力します。

小松 賢議員 ①平成四年度一般会計当初予算のおおよその予測を問う。②地域おこしグループへの支援計画について問う。

町長 ①大蔵省では地方財政の豊かさを主張し地方交付税の大幅な圧縮を図ろうとしています。このため国の予算編成の動向を見つつ来年度予算を編成することになり、現時点では推計であります。②これまでもかなり配慮した支援対策がなされてきていると想いますが、今一度見直し、ご指摘のリーダー育成、アドバイザーの派遣をも含め来年度予算に積極的に反映させたいと考えています。

主な議案

町助役に小松久男氏を選任

町議会九月定例会で可決・否決した主な議案の概要は次の通りです。

野球場照明施設料金を決定

夜間照明施設の設置に伴い「東由利勤労者体育施設（野球場）設置条例」の一部を改正しました。これは「野球場及び付属施設設備の利用料」に、一時間当たり五千百五十円（町内団体で雇用保険の被保険者の場合）などとした照明施設利用料を加えたものです（詳細は九面に掲載）。

町施設使用料等に消費税課税

十月一日から実施される消費税法の一部改正に伴い、町施設の使用料等に消費税が課税されることになりました。このため「消費税法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」を制定、町施設等の使用料を消費税（三・三%）を加えた額に改正しました。

カンナ平線などを整備

町過疎地域振興計画の一部を変更し新たにカンナ平線、大沢線、アクト線、島宮ノ前橋線などを整備計画に加えました。

平成三年度一般会計予算に
一億五千七百万円余り追加

平成三年度一般会計予算に基金利子積立金など一億五千七百五十万二千円を追加。同予算総額は三十六億八千八百四十五万四千円となりました。主なものは次の通りです（千円以下省略）。

▽財政調整基金利子積立金＝千二十九万円▽減債基金利子積立金＝六百三十七万円▽ふれあい電話設置費＝百七十一万円▽住宅費（調査設計委託料）＝二百二十六万円▽河川災害復旧費＝一億一千六百十五万円

平成二年度各会計決算を認定

平成二年度一般会計及び特別会計の決算が認定されました。同決算の審査結果について小松鉄郎総務財政常任委員長は、「自主財源の中心である町税

とを期待する」と報告したほか、「基金創設などで明確化した役場庁舎建設は、財源、建設位置、用地などの課題が多いが、取り組みの時期が来たと思われる所以決断すべきである」など、九項目について指摘・要望しました。

助役を選任

収入役の選任案を否決

辞職により八月二十日から空席となっていた町助役に町役場建設課主幹兼任課長の小松正昭氏（宮ノ前・五八歳）を選任する案に、議員による投票の結果同意しました。

また、同空席の町収入役に同税務課長の小松正昭氏（家ノ下・五六歳）を選任する案を、同投票の結果否決しました。

教育委員を選任

任期満了の町教育委員に小松忠正氏を再任、畠山卓三氏（五六歳・袖山）を新任する案に同意しました。

財産区管理委員を選任

助役の選任は十月一日付けで、任期は四年です。

小松助役略歴



小松 久男氏（五八歳・宮ノ前）



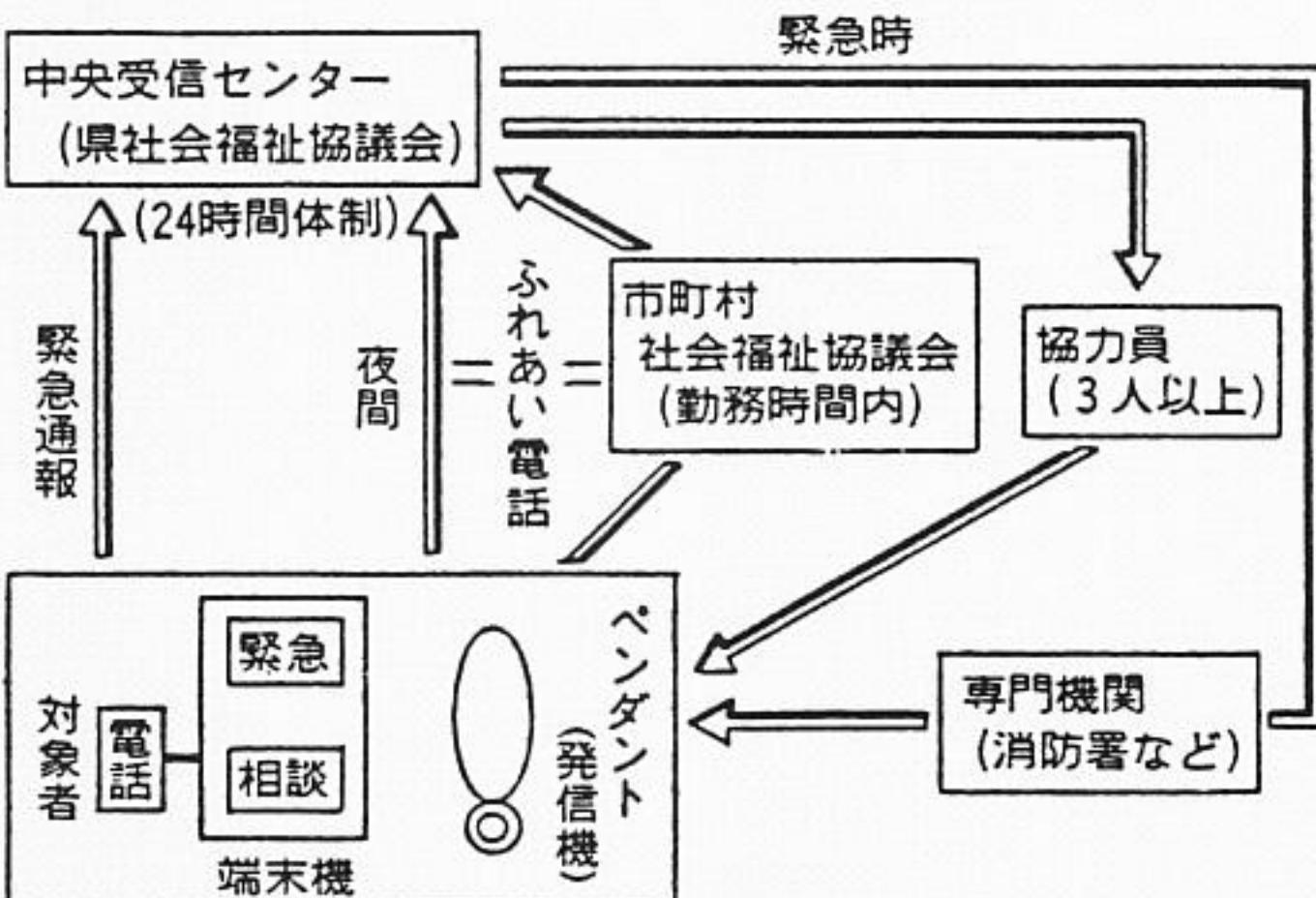
畠山 卓三氏

本荘高校下郷分校卒。昭和二十七年旧下郷村森林組合勤務。同三十四年東由利村書記補に採用され現在に至る。主な職歴▽勧業係・教育委員会総務係長・総務課企画財政係長・建設課長・建設課主幹兼課長

ひとり暮らし老人からのSOSに対応

24時間体制の「ふれあい・安心電話」スタート！

〈ふれあい・安心電話システム〉



気軽な相談もOK

ひとり暮らし老人からの緊急通報や悩み、心配ごと相談などを二十四時間体制で受け付ける「ふれあい・安心電話」が今月からスタートします。

これは町内のひとり暮らし老人世帯に端末機を設置し、県社会福祉協議会（秋田市）中央受信センターの受信機と直結、急病や事故に適確に対応するほか、孤独になりがちなひとり暮らし老人との気軽な相談相手になるものです。

ただし町社会福祉協議会の勤務時間（午前八時半～午後五時十五分）内に限っては「ふれあい電話相談」として対応、夜間や休日など町担当者のいない場合は自動的に中央受信センターにつ

まり、対象となるひとり暮らし老人には、近隣住民、民生委員、親類、ホームヘルパーらでつくる協力員（三人以上）が配置され、緊急時にはすぐに駆け付けられるようになっています。

対象となるひとり暮らしのお年寄りたちは、端末機にある緊急ボタンを押すだけで簡単に連絡ができるほか、携帯用ペンドント（発信機）も持ち、いざという時に迅速で細かなサービスが受けられるようになっています。

また、気軽な話相手となる「ふれあい電話相談」は、お年寄りたちの孤独や不安を取り除くものと期待されており、町社会福祉協議会では「対象となるお年寄りたちに、どんなことでも気軽に電話をかけてほしい。そうすることで、緊急時にも迷わずに通報できるようになるはず」と話しています。

対象者一十六人に設置

この「ふれあい・安心電話」の経費は、サブセンター（町社会福祉協議会内）と各世帯への端末機の設置費用約二百万円を町が、毎月の使用料千八百円のうちお年寄りが六百円、不足分を県と町が半分ずつ負担。本年度は希望者など二十六人を対象に実施します。

ながります。同センターに通報（連絡）があるとデーター処理装置で通報先の住所、対象者の名前や通院状況が瞬時に分かるシステムになっています。

「協力員」がバックアップ

秋田陸運支局に登録されている本町の車両は、平成三年四月一日現在三千三台で、一世帯当たり二・一台所有しています。

しかしその反面、定期点検整備率は秋田県の場合、全国平均の六七%を大きく下回る四五%の低い率となっています。このため（社）秋田県自動車整備振興会が、関係機関と連携し（優）ステッカー運動を展開することになりました。この運動は、整備点検済みのすべての自動車（二輪車及び特殊自動車を除く）に秋田犬をデザインした（優）ステッカー（図）をはり、「実施優良車」として認定、次回の点検年月日をお知らせするというものです。

運動は十月一日から実施されますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

点検整備向上のため （優）ステッカー運動開始



▲10月1日から整備済みの車両にはらわれるステッカー

町民1人当たり60万円支出

町民税や固定資産税などの町税は前年度より四百三十四円（約一成）減り、町民一人当たり約四万三千円となりました。

町づくりの根幹をなす一般会計は収入が三十五億九千五百二十一万四千円、支出が三十四億四千七百五十五万円で、差引き一億四千七百万円余りの黒字になりました。

前年度に比べ収入が約五千二十七万円（一・四成）、支出が約八千五百七十万円（二・五成）増えました。町民一人当たりでは収入が約六十二万円、支出が約六十万円となっています。

平成二年度の決算が九月定例議会で認定されました。

町税は一人当たり四万三千円



●平成2年度一般会計決算

〈収 入〉

(単位・千円)

項 目	平成2年度	平成元年度	比較(増減率)
町 税	248,026	254,439	△ 2.5
地 方 譲 与 税	65,407	53,069	23.2
利 子 割 交 付 金	7,718	3,679	109.8
自 動 車 取 得 税 交 付 金	30,166	25,188	19.8
地 方 交 付 税	1,795,322	1,725,354	6.2
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,250	975	22.0
分 担 金 及 び 負 担 金	53,147	95,542	△44.4
使 用 料 及 び 手 数 料	8,427	7,711	△ 9.3
国 庫 支 出 金	225,635	306,179	26.3
県 支 出 金	372,797	299,486	24.5
財 産 収 入	95,601	92,465	3.4
寄 付 金	550	50	1,000.0
縁 入 金	161,617	50,000	37.8
縁 越 金	183,097	142,737	28.3
諸 収 入	83,154	60,367	37.4
町 債	263,300	427,700	△38.4
合 計	3,595,214	3,544,941	1.4

〈支 出〉

項 目	平成2年度	平成元年度	比較(増減率)
議 会 費	67,025	67,475	△ 0.7
総 務 費	760,778	575,611	32.2
民 生 費	171,801	162,327	5.8
衛 生 費	180,441	235,032	△23.2
労 働 費	34,103	96,583	△64.7
農 林 水 産 業 費	731,573	709,473	3.1
商 工 費	32,629	9,411	246.7
土 木 費	384,893	441,085	△12.7
消 防 費	125,651	105,521	19.1
教 育 費	360,746	298,314	20.9
災 害 復 旧 費	129,509	178,947	△27.6
公 債 費	450,090	444,814	1.2
諸 支 出 金	18,305	37,251	△50.9
予 備 費	—	—	—
合 計	3,447,550	3,361,844	2.5

※人口は3/31現在の5,774人・100円単位省略

●町民1人当たり町税の内訳

固定資産税	24,000円
町 民 税	15,000円
町たばこ税	3,000円
軽自動車税	1,300円

●平成2年度主要建設事業の状況

〈補助事業〉

単位・千円

事業名	事業費	事業の概要
深山Ⅱ期地区	21,634	舗装=826m
杉森地区	20,200	舗装=220m、改良=611m
若林地区	20,200	改良=583m
坪倉地区	59,590	舗装=1958m、改良=536m
鞍骨地区	48,480	改良=509m、緑化=4667m ²
鞍骨Ⅱ期地区	6,060	改良=135m
特殊改良(住吉、指平、下小屋)	27,977	改良・舗装=697m
高村線改良	8,180	160m
浮蓋線舗装	2,121	140m
鳥居坂線舗装	2,673	203m
後町線舗装	4,935	331m
稻子沢線改良	6,580	132m
ザツコ又線改良	13,704	160m
防火水槽整備	5,337	館合新田、藏新田各1基
館合集会施設整備	27,408	R.C造=296.86m ²
指平線改良舗装	8,336	133m
農業排水滝の沢線	7,592	353m
集落排水藏新田線	3,140	240m
集落排水新町線	3,930	85m
高屋線改良	18,432	橋梁
八日町線改良	8,217	189m
地下ノ沢線改良	3,104	159m
台山線雪寒道路整備	24,000	458m
台山2号線改良舗装	48,000	329m
湯出野防雪柵	17,000	214m
消防施設整備	15,870	防火水槽2基、自動車ポンプ1台
テレビ難視聴地域解消	15,300	黒瀬中継局(民放)設置
葎沢地区共同受信施設整備	3,605	
林道矢走線舗装	18,718	780m
八塩1号線開設	20,000	414m
東由利中大規模改造	100,000	
島宮線改良	30,000	歩道120m

〈町単独事業〉

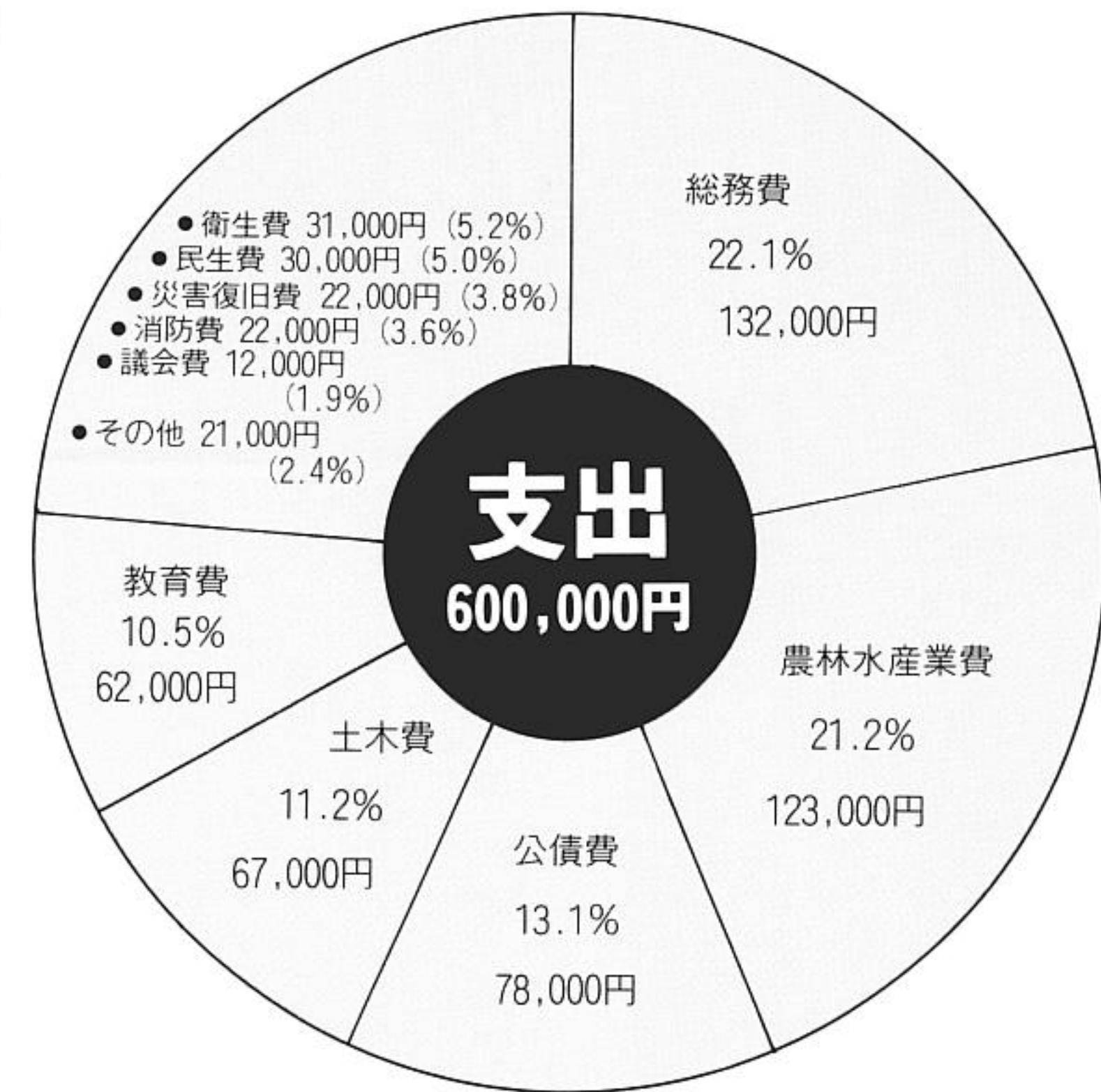
農道指平線改良	6,627	250m
農道住吉線改良	1,692	214m
農道下小屋線改良	3,003	375m
防火水槽整備	5,172	2基
台山線歩道整備	8,137	120m
大谷地線道路改良	24,985	469m、緑化工2815m ²
大谷地線舗装補修	6,362	360m
山本線改良舗装	3,205	改良・舗装87.5m
中学校線舗装	3,677	190m
台山線雪寒関連舗装	7,888	側溝40m、舗装300m
上ノ山線改良	15,909	200m
上野線改良	9,819	242m
大琴線側溝整備	6,980	側溝工210m
台山線側溝整備	1,350	排水工56m
板戸地内暗渠改良	5,356	暗渠2ヵ所、護岸10m
赤倉橋架替	22,633	橋梁工1式
台山線側溝整備	10,638	180m
若林・田の沢法面保護	4,944	3331m ²
国道関連流雪溝整備	4,626	61.5m(大琴)
流雪溝関連整備	3,749	(館合)
台山地区駐車場舗装	10,020	3751m ²
斎場外溝整備	26,587	舗装2526m ²
野球場建設事業	10,506	舗装・種子吹付・ネット張工 防護柵
工業団地造成整備	5,253	整地工
工業団地排水路整備	13,049	水路工331m
公民館シート防水改良	4,120	
宿橋橋梁塗装	2,472	
沢中線防塵舗装	3,177	6000m ²

住み良い町づくりに

さて、この膨大なお金はどのように使われたのでしょうか。

図のように支出のトップは全体の約二十二%を占める総務費ですが、この中には庁舎建設基金積立金や減債基金利子積立金など約三億五千万円が含まれており、総務費全体の約四六%を占めています。次に大きい農林水産業費は主に農道や林道の整備に使われました。このほか、公債費は借入金の返済、土木費は道路の新設や改良など、教育費は小・中学校の運営のほか中学校の大規模改修工事など、環境整備を中心に有効に使われました。

環境整備中心に有効に支出



●特別会計決算の状況

単位・円

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	478,484,080	430,688,608	47,795,472
老人保健医療	366,824,727	366,754,925	69,802
黒瀬診療所	2,097,262	2,077,802	19,460
簡易水道	145,669,502	118,627,805	27,041,697
特別養護老人ホーム	209,664,092	137,561,966	72,102,126
大平スキー場	7,091,978	7,039,579	52,399
玉米財産区	2,557,737	1,063,191	1,494,546
合 計	1,212,389,378	1,063,813,876	148,575,512



野球場照明施設収納など完成!!

勤労者野球場照明施設、台山グラウンド、八塩小学校プールが、九月下旬に揃って完成しました。

野球場照明施設

料金は一時間5,150円
今シーズンは“無料”

勤労者野球場の照明施設建設工事は六月中旬に着工、総事業費約七千万円で完成しました。

照明塔は内・外野スタンドに計四塔設置、昼間と同様、安全にプレーが楽しめます。

気になるのは使用料金ですが、今シーズンは町内の団体に限り無料で使用していただきました。来年度（四月一日）からは一時間当たり別表のようになります。

おめでとう100歳!

佐藤アキノさん元気に誕生日を迎える



斎藤県出納長（右）が内閣総理大臣から届いた記念品を伝達。感激の笑みをうかべる佐藤さん（左）

町一番の長寿者佐藤アキノさん（五海保）が九月二十日、元気に満百歳を迎えられました。
佐藤さんは多少足が弱っているものの、身のまわりのことはほとんど自分で行います。内臓がとても丈夫で三度の食事も欠かさずとり、食べ物の好き嫌いはほとんどありません。毎日ちよこ一杯の晩酌を楽しみに、昼間はテ

本町第二号

長寿祝い金50万円を贈呈

めでたく百歳を迎えた佐藤さんを、誕生日二日前の九月十八日斎藤長秋田県出納長が訪問、内閣総理大臣の祝い状と記念品を伝達すると共に、県知事の祝い金と記念品などを贈り激励しました。

また、町では誕生日当日の九月二十日、昭和六十二年に制定した「長寿祝金条例」に基づき、阿部町長が五十万円の祝い金を贈りました。同祝い金の贈呈者は昭和六十二年（故佐々木ミネさん・大琴）以来二人目となります。

佐藤さんは県内では上位十九番目、郡内では二番目の長寿者です。「長生きの秘訣は何でも食べること」という佐藤さん、ますます元気で長寿記録を伸ばしてほしいと思います。

レビを見たり家族や近所の人たちと会話ををして元気に過ごしています。

佐藤さんは明治二十四年八日町（現・佐藤平さん宅）に生まれ、大正二年に結婚。六人の子供を出産し（二人戦死）九人の孫、十四人のひ孫、四人のやしきごに恵まれています。現在は次男夫婦、孫夫婦、ひ孫二人の七人で暮らしています。

東由利勤労者野球場照明施設使用料金表（1時間当たり）

	町内団体	町内と町外団体	町外団体
雇用保険の被保険者	5,150円	6,180円	8,240円
雇用保険以外の者	6,180	7,410	9,880
高校生以下	5,150	6,180	8,240

野球場の機能も充実
台山グラウンド

台山グラウンドの全面改修工事は四月下旬に着工、長雨による天候不順の影響で工事が遅れましたが、このほど総事業費約八千万円で完成しました。改修工事は、多目的グラウンドとしての機能充実のため排水整備や観覧席の改修を行われました。また、これとあわせバッケンネット、ダッゲア

なお使用料金は、一時間を基本単位とし、一時間を超えた場合には三十分ごと基本料金の半分を加算した額とします。
照明施設を使用する場合は事前に町教育委員会（☎六九・二三一〇）に申し込んで下さい。



照明施設が完成した勤労者野球場。
今シーズンは無料で使えます

今後は従来どおり東由利中学校のホームグラウンドとして活用されるほか、町民のスポーツ・レクリエーションとの面の改修によつてグラウンドがひとまわり広くなりました。

町民のスポーツ・レクリエーションの



FRP水槽、温水シャワーなどを採用した八塩小学校の新プール

八塩小プール
来シーズンから不便解消

八塩小学校プール新築工事は六月中旬に着工、総事業費約八千万円で完成しました。

建設場所は校舎から約百メートルほど離れた館合字前田地内水田の一角で、遠藤幸男さん（館西）から用地を提供していただきました。

完成したプールは長さ二十五メートル、幅十三メートルで、連結して長さ十メートル、幅八・二五メートルの低学年用プールも設置しました。また、本町で初めてFRP（強化プラスチック）水槽と温水シャワーを採用しました。



野球場の機能も整備した台山グラウンド

八塩小学校では昭和五十七年の開校以来、約四ヶ離れた旧住吉小学校のプールを、これまでスクールバスで行き来しながら使用してきました。しかし、来シーズンからはその不便が解消されます。

田のわだい TOPICS



悲別ロマン座を見学した「ドリーミーエキスプレス」の一行

北海道で「まちおこし」を学ぶ
イベントグループと和やかに交歓
町教育委員会など主催の青年国内研修事業
「ドリーミーエキスプレス'91」が、「人づくり・イベント」をテーマに九月十三日から四日間実施され、町内青年男女二十人が北海道の歌志内市と浦臼町、札幌市を訪問、悲別ロマン座を見学したり地元のイベントグループと交流し、まちおこしを学びました。

一行はイベント情報誌に載った「ロマン座フェスティバルの特集記事」をきっかけに列車とバスで歌志内市入りし、市職員の案内でロマン座に立ち寄った後、かもい岳の山頂から炭鉱のまち歌志内市を一望しながら市の概要やイベントの実態について説明を受けました。夜は、地元市長をはじめとしてロマン座保存会、かもい岳イベント実行委員会など地域活性化に取り組む若者たちから話を聞き、和やかに交歓しました。また、二日目は浦臼町で「ワインの里フェスティバル」に参加、まちおこしに取り組む同町青年たちの姿に共鳴を受けながら、翌日帰町の途につきました。



焼き上がった作品を灰の中から慎重に取り上げる参加者

全県野焼きを楽しむ集いに一百人
八塩いこいの森で九月十二日、第十五回全県野焼きを楽しむ集いが開かれました。この集いは陶芸の原点といわれる野焼きを行い、古代のロマンに触れながら陶芸爱好者の交流を深めようと毎年この時期、会場持ち回りで開かれているもので、今年は本町公民館が町陶芸サークル「燐幻会」（小松幸子会長）の協力で主催。県内各地区からこれまで最高の約二百人が参加し、日ごろ丹精込めて作り上げた「つぼ」や「はにわ」「火焰式土器」など百点余りの作品を持ち寄りました。開会式の後、各自の作品をワラに包んで着火、燃焼源となる半端材の上にカヤやヨシなどの生草を覆い、八百~千度の温度で焼き上げました。約三時間ほどで火は消え、灰の中から焼き上がった作品を慎重に摘出。中には欠けたり割れたりしたものもありましたが、おおむね縄文土器を思わせる出来栄えとなり、参加者たちは世界に二つとない作品を手に、歓声を上げていました。

東日本軟式野球大会を開催 本町から東由利クラブ出場



県下9チームの精鋭が参加して行われた東日本軟式野球県予選大会（写真=開会式で選手宣誓をする本町チーム代表）

第十四回東日本軟式野球大会秋田県大会（第一部）が九月七日と八日、本町勤労者野球場と台山グラウンドで開催されました。県内八地区の選抜と、開催地を代表し本町から東由利クラブの九チームが参加して行われたもので、遠くは大館市や藤里町から参加、本町初の全県規模の野球大会となりました。

大会初日は雨に見舞われ、午前中は小雨のなかの試合運びとなりましたが、両グラウンドとも排水等の整備が効力を發揮、試合は中止されることなく行われました。

試合では各チーム選手が好プレーを展開、宮腰精機刈和野工場（大曲・仙北・河辺代表）が二年連続優勝を成し遂げました。本町代表東由利クラブは優勝チームと第一試合で対戦、健闘むなしく十三対〇で惜敗しました。

オツ、これは珍しい
イモノコの花咲く

小松豊さん（高戸屋）方の畑で九月上旬、珍しいイモノコ（サトイモ）の花が咲きました。花は三十センチほどの大きさで、黄色い花びらの中にクリーム色の花心があり、ミズバシヨウの花（苞）に似た形をしています。

小松さんは例年イモノコを植えており、今年も五月下旬例年のよう

に十株の球根を栽培、イモノコはいずれも茎の長さ約一メートル、葉の直径五十センチまで成長し本人も「こんなに大きくなつたのは初めて」と驚いています。花をつけたのは六株で、花をつけないものと特に変わりありませんでした。

県農業試験場では「南の地方ではよく花が咲くと聞いていたが、秋田では珍しい。冷夏のあと急に暖かくなつたことなどが影響したのではないか」と説明しています。



小松さん(写真)が栽培したイモノコ



珍しいイモノコの花

卒業記念に親子で花壇を整備
「かけがえのない思い出」に

高瀬小学校六年生（三十人）の親子が、卒業の記念にと、このほど同校遊園地「仲よし広場」の一角に花壇を作りました。

同校では昭和六十二年にPTAが労力奉仕で遊園地を整備し、各種の遊具を設置しましたが、腐蝕により廃棄したものもあり、花壇はその跡地に建設。金子拓雄学年委員長を中心として、六年生の親子が総出で労力奉仕を行ない立派に花壇を完成させました。

トーテムポールの周囲にコンクリートで二重に造られたこの花壇には、同校の児童によつてさつそく花が植えられ、休み時間に遊園地で遊ぶ児童たちの心を和ませています。金子委員長は、「何よりの卒業記念の贈り物と自負している。また親子が協力して作った花壇であり、私たちにとつてかけがえのない思い出にもなった」と話しています。



卒業記念に親子で造った花壇に囲まれて高瀬小六年生の皆さん

いよいよ冬が近づいて来ます。どちらかというと、寒い季節は苦手ですが、今年はスケートに挑戦してみたいと思っています。スケートは今まで一度しかやったことがないので、ケガをしないよう練習し、滑れるようになりたいと思います。



大琴小学校5年・鈴木奈津美さん

げきだん「野ばら」のみなさんへ



私は、この日を楽しみにまつていました。だって「かがやけ緑の宇宙船」というげきがみれるのだから。先生の話を聞くと、この人たちは、東京からくるらしいのです。わざわざ東京からきてくれる

私は、この日を楽しみにまつていました。だって「かがやけ緑の宇宙船」というげきがみれるのだから。先生の話を聞くと、この人たちは、東京からくるらしいのです。わざわざ東京からきてくれる

五、六時間目です。私たちは、二回目のバスです。八塩の友だちにも早く会いたいけど、げきはもつと楽しみでした。

なんとなく暗くなりはじめたと思つたら、げきが始まりました。八塩の友達に会いました。

ふたたびげきがはじまりました。こんどは、宇宙人がミー子にうつりました。他の人たちは、げいをしているものだとばかり思つていました。

私は、このげきを見て、あらためて、自然というものをしりました。よごれた空気をすつている、東京。きれいでおいしい空気をすつっている東由利。水だつてそうでも森林。こういうちがいでてできました。うたつたり、おどつたり、お話ししたり楽しかったです。

きゆうけいの時間です。私は、みなさんがどう。

のだからきっと楽しいだろうなと思いました。

当日私は、五、六時間目をいました。かいまたまちかまえていました。ろくに勉強も耳に入りませんでした。

秋田ルビコン(株)に就職して半年が過ぎようとしています。

入社したころは、同世代の友だちがいなくてさびしい気持ちもありましたが、楽しい先輩が多く、今はいろんな人と話しができるようになります。

仕事は、まだまだ分からぬことが多いですが、先輩たちに教え



阿部 早苗さん(21歳)
十二ノ前・秋田ルビコン(株)勤務

秋田ルビコン(株)に就職して半年が過ぎようとしています。

入社したころは、同世代の友だちがいなくてさびしい気持ちもありましたが、楽しい先輩が多く、今はいろんな人と話しができるようになります。

今はいろんな人と話しができるようになります。

今日はいろんな人と話しができるようになります。

今日はいろんな人と話しができるようになります。

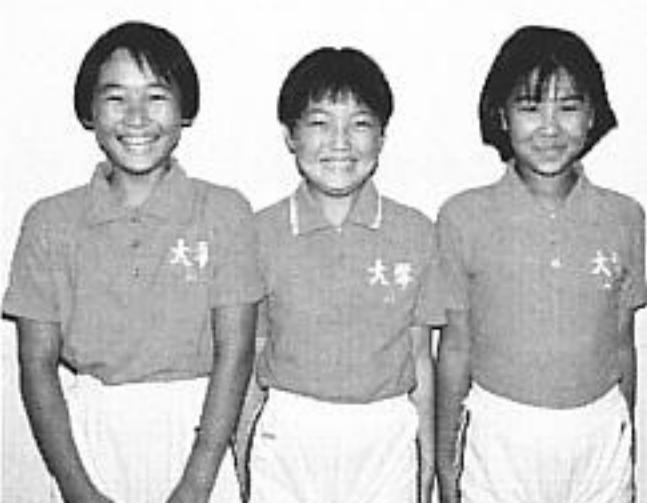
今日はいろんな人と話しができるようになります。

大琴小五年女子がんばる

“本番”での活躍に大期待

大琴小学校五年の女子三人が九月八日由利高校（本荘市）で開かれた郡市卓球大会（郡市卓球協会主催）の「ホープスの部」（四年生）で上位入賞を独占

し、団体女子の部の準優勝を導きました。



右から阿部由美子さん（優勝）鈴木奈津美さん（準優勝）佐々木晃子さん（三位）

この大会は、十月五日（土）に北中学校（本荘市）で開かれる郡市小学校卓球大会（学体連主催）の力をためす大会とも言われており、「本番」での活躍が大いに期待されるところです。

がんばってください。

◆大琴小学校5年・鈴木奈津美さん

◆大琴小学校5年・鈴木奈津美さん

◆東由利の文せみ

◆東由利の

ばひろつぶ 婆さまが拾った三粒の豆コ

語り・梅津嘉一郎さん(大琴)
文と絵・石渡力造

ふるさとの昔ばなし

19

教師のつぶやき

せんせい登場



こんな人に

大琴小学校・三浦 春道先生

私が教師になって、六ヶ月が過ぎました。二十六人の子供達との毎日は、本当にいろいろな事があります。毎日が変化に富み、一日たりとも同じような日はありません。そう言う意味で非常に充実した日々を過しています。

先日、初任者研修で牛島にある県教育センターに行つてきました。生活科と言う新しい教科についての勉強でした。生活科とは、1・2年生を対象にした社会や理科・図工などを組み合わせたような教科です。しかし、最大の特徴は、子供達自身が主体となつて授業が

進み、教師は子供と素材の関係を深める援助者に過ぎないと言うことでしょう。素材とは、その子その子によつて違つてもかまいません。今までの、教師から与えられた同じ教材で勉強するのではなく、自らが見つけた素材を教材として勉強するのです。

私は、この生活科に大きな期待を持っています。今、社会では指示待ち人が多いとよく言われます。指示をされないと何もできません。私もその一人かも。しかし、私は子供達に大人になつて、そういう

人間になつて欲しくありません。

自ら考え実行できる人間になつて欲しいのです。そのためには、この生活科はとても良い教科であると私は思います。

私は、生活科を体験していない5年生を担任していますが、私の子供達にもぜひ自ら考え実行できる人間になつて欲しいのです。幸い東由利には、豊かで暖かな自然があります。これを素材として、学び子供達には、人のことを考えられる心豊かな「大きな人間」になつて欲しいものです。私と共に頑張っていきましょう。

「むかしむかし、あるところに、爺さまと婆さまがおつたど。貧しい暮らしの二人ですが、近所で困つたことがあれば、自分のことのように心配し、お世話をす

る、それはそれは、めんどう見の良い夫婦であつたど。

ある日のこと、爺さまが山に柴を切りに出かけようとしたら、庭さきを掃いていた婆さまが、突然びっくりしたような声で爺さまを呼ぶけどよ。

「爺さまや、良えものを拾つた見でけれえ!」と大へんご気げんだけど。「…なに拾つたと思つたら豆コ三粒。とてもコロッとした大き豆コだごど」庭の隅で拾つた三粒の豆コは、婆さまの手の平で光つておるようだけど。

爺さまにほめられた婆さまは、



「この豆コ、煮て喰べたら良んだろうか、それとも煎つて喰べたら良んだろうか?」と爺さまに相談したどよ。

「婆さまや、せっかく拾つた豆コだ。一粒は種コにして増やし、秋になつたら、たくさんついた豆コのサヤに実つコがパンパンと入つたど。爺さまはひさしに登り、竹の棒で上方からポンポンと豆コのサヤをたたくと、パラパラパラパラと下に敷いておいたむしろに落ちてくるんだけど。

大よろこびの婆さまは、袋にいづばいつめ入れたんだどお! そのたくさん豆コを爺さまと婆さまは、村のみんなに分け、たいへんよろこばれだけど! とつびんからりん山しようの実

なんだ。残つた一粒の豆コを、爺さまと婆さまは裏の畠に播いたどよ。播いた一粒の豆コは、芽を出しずんずんずん大きくなつて、家の軒端まで伸びたでの。

秋になつたら、たくさんついた豆コのサヤに実つコがパンパンと入つたど。爺さまはひさしに登り、竹の棒で上方からポンポンと豆コのサヤをたたくと、パラパラパラパラと下に敷いておいたむしろに落ちてくるんだけど。

会社勤めや農作業に追われ、リン酸塩を多量に含むインスタント食品や加工食品をいつも食べていると、カルシウムが体に吸収されにくといわれます。発育盛りの子どもの食事やおやつにも安易に

用いると、成長に悪影響を及ぼします。小魚、海草、大豆製品、牛乳や乳製品を十分に摂り、適度の運動と日光浴がカルシウムを上手に摂るコツです。寝たきり人生をさけるためにも、若いうちから丈夫な骨を維持できるよう、地道なカルシウム対策を考えたいものです。

(保健婦・伊東志津子)

快適タイム カルシウム不足に要注意

わんきん通信

女性の老齢厚生年金

Q 私は七月に満五十五歳となり定年退職することになります。

昭和三十三年から現在の会社に勤め、約三十二年間厚生年金保険に入りました。

二人の子供も独立して主人と二人暮らしですので、退職後は年金を受給してゆとりのある人生を過ごしたいと思っております。

私の場合、退職後直ちに、厚生年金を受けることができるでしょうか。なお、五十八歳になる夫は会社勤めで厚生年金保険に加入中です。

A 開始年齢は、一般的には厚生年金保険に入している人が退職している場合には、六十歳から特別支給の老齢厚生年金が支給されます。

また、六十歳以上で在職中（厚生年金保険に加入中）の入には、標準報酬月額が二十四万円以下の段階に区分されて、特別支給の老齢厚生年金が支給されます。

生年月日	支給開始年齢
昭和7年4月1日以前	55歳
昭和7年4月2日から昭和9年4月1日	56歳
昭和9年4月2日から昭和11年4月1日	57歳
昭和11年4月2日から昭和13年4月1日	58歳
昭和13年4月2日から昭和15年4月1日	59歳

しかし、六十一年四月から制度が変わりまして、女子の老齢厚生年金の受給開始年齢は別表のとおり、段階的に六十歳まで引き上げられました。

あなたは昭和十年七月生まれの方のようですが、この七月に退職しても直ちに老齢厚生年金を受給することはできません。退職していくても支給開始年齢は五十七歳からとなります。

また、同じく六十一年四月からの制度改正により、老齢厚生年金の受給資格期間を満たしている方でも、六十歳に達するまでは国民年金に加入しなければならないことになりました。あなたが退職後厚生年金に加入している夫（配偶者）によって生計を維持されている場合は、国民年金の第三号被保険者として、国民年金に加入しなければならないことになりますので、町役場の国民年金係へ届け出してください。

六十五歳からは老齢基礎年金となりますが、この国民年金に加入した期間の年金額については、老齢基礎年金に増額されます。



暴風で稲のハサがけは10,500間が倒壊

速報！台風19号被害状況報告

住家29棟に半壊などの被害発生

- 九月二十八日早朝、本県沖を通過した台風十九号のもたらした暴風で、本町では住家や農作物などに大きな被害を受けました。町では同日午前八時三十分に「災害対策本部」を設置、被害状況の調査などを行いました。
- 同対策本部が取りまとめた同日午前十一時現在の被害状況は次の通りとなっています。（）は推定被（損）害額、単位万円。
- ▽住家の半壊二棟（七九〇）
- ▽同一部破損二七棟（一九二）
- ▽立ち毛倒伏九五ヶ所（一、三三三）
- ▽実落ち三一〇ヶ所（一、六三三）
- ▽ハサ架の倒壊一〇、五〇〇間（一、三九七）
- ▽半壊一棟（二七〇）
- ▽全壊一棟（二一三）
- ▽一部破損三〇棟（二八九）
- ▽半壊二棟（二一三）
- ▽ビニールハウス全壊二八棟（五〇四）
- ▽一部破損三〇ヶ所（一、六三三）
- ▽同・生産施設
- ▽葉たばこ二ヶ所（二一三）
- ▽りんご四ヶ所（六四〇）
- ▽くり一一ヶ所（二八四）
- ▽葉たばこ二ヶ所（二一三）
- ▽野菜類・サヤインゲン五〇ヶ所、ミニトマト四五〇坪、ホウレンソウ二〇〇坪、キャベツ五〇ヶ所、ハクサイ一五ヶ所、自家用野菜な

合計

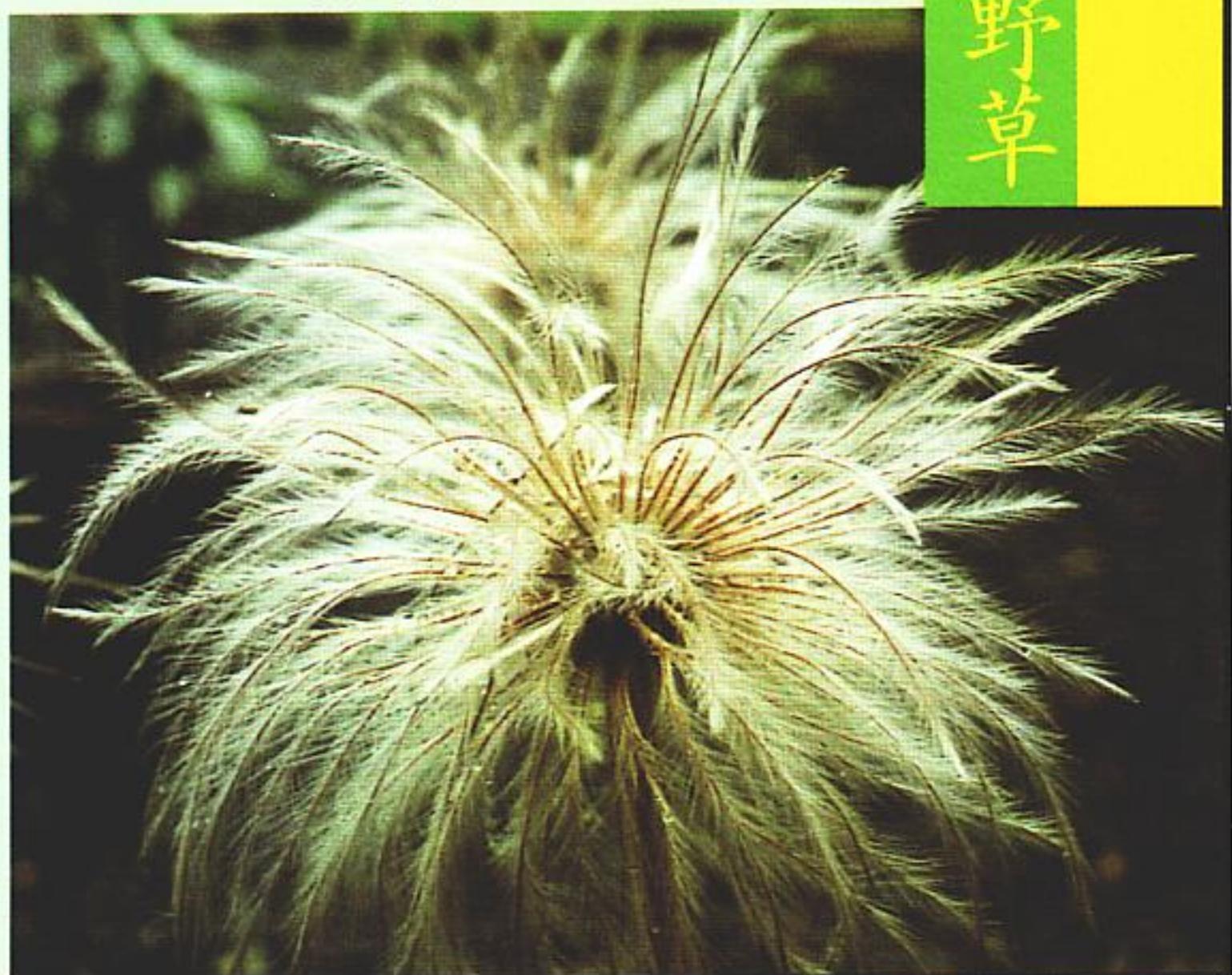
九、六六八万円

郷土の野草

80

オキナグサ
(キンポウゲ科)

文・写真 小松忠正

10月 (8/1~8/31)
町のミニ統計

- 人口 () は前月比
 - ・男 2,817人 (0)
 - ・女 2,961人 (10)
 - ・計 5,778人 (10)
- 世帯数 1,416戸 (2)

() は1月からの累計
●出生1人(23) ●死亡4人(32)
●転入21人(79) ●転出8人(104)

- 火災出動……1件 (3)
- 救急出動……12件 (79)
- 交通事故……1件 (7)
 - ・死者……0人 (0)
 - ・傷者……1人 (9)
- 飲酒運転……1人 (1)
- 酒気帯び……2人 (3)

10町民カレンダー

作業前には必ず点検しましょう
今月は農作業安全月間です

- 9・東由利中学校公開研究会 (9時~東中)
- 13・奥羽駅伝競争大会 (10時~玉米支所前通過予定)
- 15・機能訓練教室 (13時~有鄰館)

秋の行政相談週間
10/12~10/18

- 22・地区音楽祭と感動体験発表 (13時~健康増進センター)
- 27・ふるさとウォークラリー(予定)

10月12日・26日の土曜日は役場が
休みです。

町県民税 (同) の納期です。
10月は固定資産税 (第三期) と
善意

山の日当りのよい所に生える多年草で、十数年前には町内のいたる所で見られましたが、最近は量が極めて少くなりました。全体長い白色の毛が密生し、根生葉には長い柄があつて二回羽状複葉です。小葉は更に深く裂けます。茎

につく葉には柄がありません。
五月頃花柄の先に外側が白毛におおわれた暗赤紫色の鐘形花を下向きにつけます。花後、白髪頭の
翁(おきな) (年をとつた男)の頭によく似ているのでこの名があります。

- ご結婚おめでとう
 - 8/18 渡辺満里奈ちゃん (多代子・長女) 要館田
 - 8/20 長谷山裕子ちゃん (博昭子・長女) 田代
 - 8/21 遠藤清和さん (高橋留美さん・夫) 畑村
 - 8/22 佐藤忠広さん (横山美和子さん・夫) 横小路
 - 8/29 大日向マツヨさん (横山智者鶴・夫) 森
 - 8/19 伊藤シゲノさん (遠藤薰さん・夫) 佐藤仁賀保町
 - 8/21 遠藤羊子さん (佐藤薰さん・夫) 小倉

戸籍だより

(8/21
9/20届出)

●お誕生おめでとう

- 8/18 渡辺満里奈ちゃん (多代子・長女) 要館田
- 8/20 長谷山裕子ちゃん (博昭子・長女) 田代
- 8/21 遠藤清和さん (高橋留美さん・夫) 畑村
- 8/22 佐藤忠広さん (横山美和子さん・夫) 横小路
- 8/29 大日向マツヨさん (横山智者鶴・夫) 森
- 8/19 伊藤シゲノさん (遠藤薰さん・夫) 佐藤仁賀保町
- 8/21 遠藤羊子さん (佐藤薰さん・夫) 小倉

広報カラー スナップ

100歳おめでとう
(9月20日・朋楽荘)

佐藤アキノさんの「百賀を祝う会」が
親せきなど60人が出席して開かれました。
写真は孫の順子さん(右)から花束の贈
呈を受けるアキノさん。(関連記事8面)

編集室から

▼表紙のカラー写真は毎号悩みのタネ。今月は季節感を出したいと、りんごの収穫や栗ひろい、きのこ採りなどの題材を検討しましたが、適当な場面を見つけかね結局無難なところで稲刈りにしました。今後皆さんからも表紙の写真提供にご協力をいたければ幸いです。▼十月三十日(水)に今年度四回目の「HKふるさとネットワーク」出演で私たちの生活が便利になつた一方、日常生活における運動量は減つてきています。健康を考えるうえで運動不足は大敵です。老後を健康に過ごすためにも日々体力づくりをしませんか。